

六月八日

接 起	受 昭 和 十 八 年 六 月 九 日	第 二 四 三 五 號	決 裁	昭 和 十 八 年 六 月 九 日	書 淨
施 行	昭 和 十 八 年 六 月 九 日		完 結	昭 和 十 八 年 六 月 九 日	合 校
					發 行

大臣 了 報

人事課長

勸告書記官長

五月二十日付内閣人庫才一四六號の於て事務官

大臣 臣 旨

大東亞

孫ル擧起ノ中ノ既就テハ次日船隊司令部  
取島中ノ南洋艦隊司令官山崎龍吉ヲ派遣  
セシメ其ノ後翌トシテ創設ノ島地層係系  
可也亦取討制取後及回答候

創設三都島附ノ一

(起案用紙三號ノ三)

規格-B5 (東東3,195)

REEL No. A-1222

南洋廳

東人秘第一一六號

昭和十八年六月四日

南洋廳長官官房秘書課



大東亞大臣官房人事課長 殿

占領地軍政要員ノ交代ニ關スル件

五月二十九日附官人第二四二五號ヲ以テ御來照首記ノ件ニ關シ左記ノ者適任ト認メ御推薦致度候ニ付可然御取計相煩度候也  
尙關係書類各四部ツツ添付致候ニ付御查收相成度

記

一、政務ニ關スル司政官

南洋廳事務官

金井新吉

D-5 (タイプライター用紙)

南洋廳

		任地	大宮島
		官職名及現官等俸給(發令年月日)	南洋廳事務官 六等 昭和十七年三月八日
		司政官(技師)ニ轉出ノ場合ノ希望官等俸給	海軍司政官 六等 昭和十七年三月八日
		任用資格及學歷	特
		位勳氏名	正七 金井新吉 明三六年二月九日
		現勤務地	南洋群島 サイパン島
		軍政要員候補者名簿	

日本標準規格 B5

REEL No. A-1222











接 受 案	昭 和 年 月 日	決 裁	昭 和 拾 八 年 三 月 廿 八 日	完 結	昭 和 年 月 日
起 案	昭 和 年 月 日	施 行	昭 和 拾 八 年 三 月 廿 九 日	完 結	昭 和 年 月 日
		審 査		合 校	
		送 發			

第 三 〇 三 五 號

人 事 課 長

次 官 余  
大 臣 了

南 洋 艦 隊 考 察 出 発 式

南洋艦隊考察出発式  
昭和十八年三月廿九日  
大 東 臣 官

中ノ考歴事初ノ山部記志ヲ呼ビ其ノ  
他注トシテ江紀ノ事人等方中然ニ付至急  
補者少監傳ノ上杜廣利成務ノ以て  
是則別山部神名名簿並應ノ高知日都  
出美財功也

記

一政務司同司司政官(古考也) 一名



規格-135 (東京3,195)

秘

内閣人軍第一四七號

昭和十八年五月二十六日

内閣書記官長 星野直

大東亞次官 山本熊一殿

占領地軍政要員ノ交代ニ關スル件

今般海軍次官ヨリ豫テ第四艦隊司令部附ニ配屬中ノ南洋廳事務官山野雄吉交代方取計度ニ付後任者ノ人選方申出之有候條貴省ヨリ左記人員ヲ派遣スル様致度候補者銓衡ノ上推薦相成度候

記

一、政務ニ關スル司政官（六等級） 一名



七  
相  
回

内閣



海軍省南洋班  
七月中代座より

南洋班長  
定員外  
公島政務局長

山野雄吉

右の如き者期に及ばざるもの

左ノ者ト更代ヲ希望ス

南洋班トシテ現在及有るもの

解指、並シテ正式に承認ス

ラ付テ可也

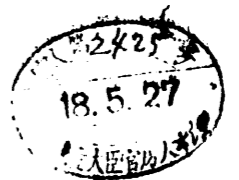
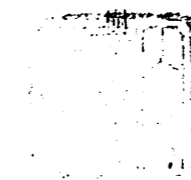
サハシマシク長

南洋班長

任海軍省以下(定員外)

殿

星野直



關スル件

部附ニ配屬中ノ南洋廳事務官山野

方申出之有候條貴省ヨリ左記人員

推薦相成度候

一名

別紙

控

氏名	生年月日	位・勳・爵	任用資格及學歷	現任職務		希望職務	
				現任職務	俸給	希望職務	俸給

軍政要員候補者名簿

大東亞省

19.5.27

タイプライター用複写用全葉(緑色用紙)

(表紙2102) (日本標準規格B4)

REEL No. A-1222

アジア歴史資料センター